

### [中吐]ゲムシタビン+シスプラチン療法

外科: 管理番号 D308  
処方医:   
適応: 胆道がん  
3週を1コースとし投与をくりかえす

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
ゲムシタビン	●							●														
シスプラチン	●							●														

身長: cm 体重: kg 体表面積: m<sup>2</sup>

[投与スケジュール] (クール目)

DAY 1( 月 日) DAY 8( 月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
ラクテック注500mL [2時間 点滴静注]	1瓶		
ラクテック注500mL [2時間 点滴静注]	1瓶	グラセロン点滴静注用バッグ3mg デキサート [30分 点滴静注]	1袋 9.9mg
		生食 100mL ゲムシタビン 1000mg/m <sup>2</sup> [30分 点滴静注][炎症性] 24Gにてルート確保	1瓶
		生食 250mL シスプラチン25mg/m <sup>2</sup> [1時間 点滴静注][炎症性] アレルギー-症状注意 6~8回以上ほぼ 数分以内	1瓶
ラクテック注500mL [2時間 点滴静注]	1瓶		

プラ

DAY 2( 月 日)~3( 月 日) DAY 9( 月 日)~10( 月 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	1x朝食後

#### [適性使用基準]

[DLF] シスプラチン: 腎障害、骨髄抑制  
悪心・嘔吐  
ゲムシタビン: 骨髄抑制

- PS (Performance Status)が0~2である
- \*2. 重篤な骨髄抑制がない
3. 胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症ではない
4. 胸部への放射線療法を施行していない
- \*5. 重症感染症を合併していない
- \*6. 重篤な腎障害がない
7. 本剤の成分又は他の白金を含む薬剤に対し過敏症がない
9. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

血液一般検査 (ゲムシタビン)	* WBC	4000 ≤		
	* Neut	2000 ≤		
	* PLT	10万 ≤		
	* HGB	10 ≤		
	GOT	正常値上限の2.5倍以下		
	GPT	正常値上限の2.5倍以下		
	TBil	正常値上限の2倍以下		
	* Cr	正常値上限以下		
	Mg	1.7-2.5		

#### ゲムシタビン

[今回の投与量] [累積投与量] mg  
[今回の投与量] [累積投与量] mg

#### シスプラチン

[今回の投与量] [累積投与量] mg  
[今回の投与量] [累積投与量] mg

#### シスプラチン

Ccr (mL/min)	60<	45-60	30-45	30<
CDDP	100%	75%	50%	中止

Ccr<30:中止

[DLFを除く重大な副作用]

《シスプラチン》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状 [発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等]
- ・聴力低下・難聴・耳鳴 [聴力低下・難聴・耳鳴]
- ・うっ血乳頭、球後視神経炎、皮質盲 [視力低下・中心暗点・眼痛]
- ・脳梗塞 [意識障害・頭痛] - 一過性脳虚血発作
- ・溶血性尿毒症症候群 [紫斑・むくみ・尿量低下]
- ・心筋梗塞、狭心症、うっ血性心不全、不整脈 [胸痛・息切れ・動悸・心電図異常等]
- ・溶血性貧血 [めまい・たちくらみ・倦怠感]
- ・間質性肺炎 [咳・息切れ・呼吸困難・発熱等]
- ・抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 [むくみ・痙攣・意識障害]
- ・劇症肝炎、肝機能障害、黄疸 [食欲不振・倦怠感・黄疸]
- ・消化管出血、消化性潰瘍、消化管穿孔 [腹痛・嘔吐・吐血・下血]
- ・急性膵炎 [腹痛・腰背痛]
- ・高血糖、糖尿病の悪化
- ・横紋筋融解症 [筋肉痛・コーラ尿]

《ゲムシタビン》

- ・アナフィラキシー様症状 [呼吸困難等]
- ・心筋梗塞 [胸痛・呼吸困難等]
- ・溶血性尿毒症症候群 [紫斑・むくみ・尿量低下等]
- ・肺水腫 [呼吸困難・チアノーゼ等]
- ・うっ血性心不全 [息苦しさ・むくみ・胸痛等]
- ・腎不全 [むくみ・尿量低下等]
- ・気管支痙攣 [呼吸困難・喘鳴等]
- ・成人呼吸促迫症候群(ARDS) [呼吸困難等]
- ・間質性肺炎 [咳・息切れ・呼吸困難・発熱等]
- ・皮膚障害 [紅斑・水疱・落屑等]
- ・肝機能障害、黄疸